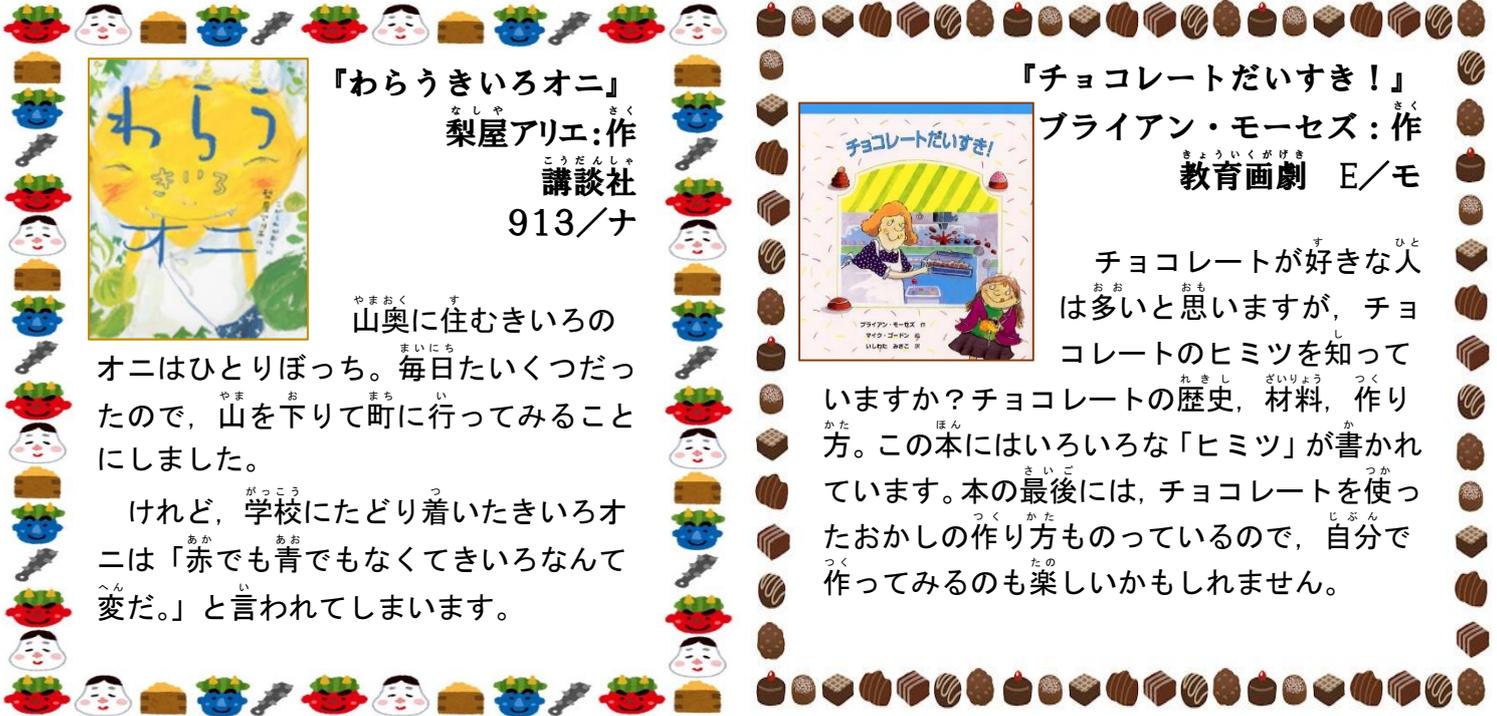


としょかんだより 2月号

はや早いもので、もう2月になってしまいました。
まじきび さいむ たいちよう くず すいみん えいよう
厳しい寒さで体調を崩さないように、睡眠や栄養をしっかりと取ってくださいね。
そして、からだ えいよう いっしょ ところ えいよう ほん と おも
そして、体の栄養と一緒に、心の栄養も本から取ってもらえたらと思います。

季節に合わせて



『わらうきいろオニ』
梨屋アリエ:作
講談社
913/ナ

山奥に住むきいろのオニはひとりぼっち。毎日たいくつだったので、山を下りて町に行ってみることにしました。

けれど、学校にたどり着いたきいろオニは「赤でも青でもなくてきいろなんて変だ。」と言われてしまいます。



『チョコレートだいずき!』
ブライアン・モーゼス:作
教育画劇 E/モ

チョコレートが好きな人は多いと思いますが、チョコレートのヒミツを知っていますか? チョコレートの歴史、材料、作り方。この本にはいろいろな「ヒミツ」が書かれています。本の最後には、チョコレートを使ったお菓子の作り方もっているので、自分で作ってみるのも楽しいかもしれません。

二月 初午 しもつかれ

栃木と言えばしもつかれですが、みなさんは食べられますか? 今回はそのしもつかれの由来を紹介します。

しもつかれは、栃木県を中心に、北関東一帯に伝わる稲荷信仰の煮物料理です。2月の初午※に、赤飯とともに藁で作った器に入れて稲荷明神に供えます。

平安期頃からの料理ともいわれていますが、鎌倉前期の『宇治拾遺物語』の中に、1218年頃にそれらしい料理の記事があるそうです。

しもつかれの語源には諸説あって、味がしみ込んだ又は冷たいことを意味する「しみつかる」や酢をかけて食べたことに由来し『宇治拾遺物語』などにみえる「酢むつかり」を起源とするや「下野家例」の訛りで「下野ばかり」であるとする説などがあります。家例は、その家に代々伝わる特別なしきたり・慣習のこと。

※初午は、2月最初の午の日で、稲荷の祭日とされています。今年は2月12日。



